

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 23 年 2 月 10 日 (2011.2.10)

【公開番号】特開 2008-154241 (P2008-154241A)  
 【公開日】平成 20 年 7 月 3 日 (2008.7.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-026  
 【出願番号】特願 2007-324742 (P2007-324742)  
 【国際特許分類】

H 0 1 Q 1/22 (2006.01)

B 6 0 C 19/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 Q 1/22 Z

B 6 0 C 19/00 B

B 6 0 C 19/00 G

【手続補正書】  
 【提出日】平成 22 年 12 月 14 日 (2010.12.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

細長いダイポールアンテナを有する電子デバイスを受け入れ部材の表面に載せる方法であって、

少なくとも 1 つのアンテナ位置決め手段を有する保持装置を前記電子デバイスに隣接して配置させることと、

前記アンテナ位置決め手段を作動させることと、

前記アンテナ位置決め手段によって、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を前記保持装置に取り込まれた状態になるように移動させることと、

前記保持装置を前記受け入れ部材の表面に隣接する位置に移動させることと、

前記保持装置を前記受け入れ部材の表面に係合させることと、

前記電子デバイスを前記受け入れ部材の表面に置くことと、

を有する、細長いダイポールアンテナを有する電子デバイスを受け入れ部材の表面に載せる方法。

【請求項 2】

保持装置押圧手段によって、前記アンテナ端部を前記受け入れ部材の表面に当接するように移動させることをさらに有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの磁石によって、互いに対向するガイドフィンガによって形成された前記保持装置の各スロット内に、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を取り込むことをさらに有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記各スロットの前記ガイドフィンガの末端を前記受け入れ部材の表面に係合させることをさらに有する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記各スロットの前記ガイドフィンガの前記末端が前記受け入れ部材の表面に係合した状態で、保持装置押圧手段によって前記アンテナ端部を前記受け入れ部材の表面に当接す

るように移動させることをさらに有する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記アンテナ位置決め手段によって、前記保持装置の前記各スロットの間の細長い場所に前記アンテナを保持することをさらに有する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記保持装置の各スロット内に配置された少なくとも 1 つの磁石によって、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を前記保持装置内に取り込むことをさらに有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記各スロット内の保持装置押圧手段によって、前記アンテナ端部を前記各スロットから移動させることをさらに有する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記各スロット内の前記少なくとも 1 つの磁石によって、前記アンテナを前記保持装置の前記各スロットの間に細長い形で保持することをさらに有する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記各スロット内の保持装置押圧手段によって、前記アンテナ端部を前記各スロットから移動させることをさらに有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

磁気システムおよび真空システムを含む一群のシステムから選択されるアンテナ位置決め手段によって、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を前記保持装置のスロットに取り込むことをさらに有する、請求項 1 に記載の方法。